

環状線の完成により中心市街地の安全で円滑な交通を確保・東西地域の連携を強化 —都市計画道路 上新町環状線(井野工区)の開通—

事業の概要と目的

位置図



地域の課題

- 幹線交通の集中で取手駅周辺市街地は慢性的に混雑
- 幅員の狭い生活道路が抜け道となり歩行者等の安全確保に支障
- JR常磐線により東西地域が分断され地域間交流が停滞

事業概要 平成19年度から県と取手市が一体となって整備

	県事業区間	市事業区間
事業箇所	取手市桑原～井野	取手市井野～青柳
計画延長	714m (橋梁部 210m)	676m
計画幅員	16・22/6m	16/6m
事業費	約28億円	約13億円

地域や暮らしへの効果

効果1 交通の転換で生活道路の安全性向上

○井野地区や桑原地区の生活道路や踏切の交通量が
3～4割減少

⇒歩行者等の安全を確保

※通勤時間帯における交通量調査より



効果2 交通の分散で市街地の混雑緩和

○国道294号【白山7丁目】から県道取手東線【東6丁目】へのアクセスが

約4分短縮 (11分→7分)

※通勤時間帯(17時～18時)における実走調査より

市コミュニティバス「ことバス」



「環状線が完成して市街地内の混雑が緩和され
バスの運行がスムーズになりました！」
※市コミュニティバス運行会社へのヒアリング調査より



効果3 東西地域の連携強化で地域活性化に期待

○農産物直売所「夢とりで」の

売上が **約4割増加**

客数が **約3割増加**

※月間実績の対前年比 (H26.12～H27.12)

